

# フードドライブに協力してください

家庭に眠っているまだ食べられる食品の提供に協力してください。

## ●フードドライブとは？

家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている福祉施設や子ども食堂などに寄付する運動で、食品ロスを減らす効果も期待されています。

## ●期間 10月6日(月)~10日(金)

## ●場所 ◇市役所新館4階 循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当◇市内4コミュニティセンターの回収BOX

## ●受け入れできる食品 ◇未使用・未開封◇賞味期限が1カ月以上ある◇常温保存可能

(例)◇穀類(米・パックご飯・小麦粉など)◇パスタ・素麺などの乾麺◇缶詰◇レトルト・インスタント食品◇乾物(海苔・鰹節・豆類・ふりかけなど)◇粉ミルク◇離乳食◇ソースなど◇飲料(お茶・コーヒー・ジュースなど)

## ●受け入れできない食品 ◇開封済◇賞味期限が受付締め切り時に1カ月を切っている・未記載◇常温保存不可

(例)◇生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)◇アルコール(みりん、料理酒除く)◇冷蔵・冷凍食品

## ●問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当 ☎(580)1889



※画像はイメージです  
(実際とは異なる場合があります)

## 大野城心のふるさと館のおすすめ②

あけてみよう!

# 歴史のとびら

192

## 平野神社のお祭り・宮座

爽りの秋になると、市内の各神社では宮座が行われます。宮座は収穫された新しい穀物などを祭壇に捧げ、五穀豊穣をもたらしてくれた神様に感謝する大事なお祭りです。

古い歴史を持つ牛頸の平野神社では、牛頸区の前身である上牛頸村(井手・丸隈・原・中通り)と下牛頸村(大立寺・横峯・平田を含む)・堂の本・月の浦・畑ヶ坂)の12軒が宮座員となり、行事を行ってきました。当元(宮座の世話役)を中心に日程などの調整が行われ、9月下旬に宮座員で注連縄やお鏡餅の元になるもち米の稲刈りを行い、10月初めに平野神社境内で拜殿や鳥居などに掛ける注連縄を作り、新しいものに架け替え、10月中旬にお鏡餅を掲げ、宮座の準備が進んでいきます。

10月17日頃に行う宮座当日、二段重ねのお鏡餅や新米、雌雄の大鯛一对、ホテ(柿、長芋、トコロ芋)などを12個の三宝にのせ、12膳の箸を添えたお供物が準備され、宮座員の手渡しで平野神社の拜殿から本殿に運ばれ、神様に供えられます。ひとときの後、宮座員の手渡しで本殿からお供物が下げられ、御神酒と焼いた大鯛で直会(神前での会食)が行われます。

直会では来年の当元を決める当渡しが行われ、宮座が続けられてきました。

市では平成

5年(1993)と令和6年(2024)に、平野神社の宮座の民俗文化財調査を行いました。宮座は30年ほどの間に祭日の短縮、餅掲げ方法の変化などがある一方、注連縄やお供物などはほぼ形を変えずに継承されていることが分かりました。このような変化は、宮座員や関わりのある人々が生活の中で何を残し、何を受け継いでいくか、長い時間をかけて選んできたことを現しています。きっとこれから宮座のあり方は地域の人々の暮らしの移り変わりに合わせて変化し続けていくことでしょう。

さて、夏の暑さが和らぎ、宮座の準備が始まる時季になりました。住んでいる地域の神社ではどんなお祭りが行われていますか。

## ●問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当

☎(558)2206



平野神社の宮座